



■女性部 ■
7月27日
2017年度兵教組女性部サマーワークショップ

学校現場において、いじめや不登校など子どもの人権にかかる課題が山積している。その背景は様々だが、セクシユアル・マイノリティへの教職員の理解不足があることも指摘されている。本来、学校は多様な存在の人々が、自分らしく尊厳をもつて生きることができる社会をつくるための学びの場だ。そのためにも、セクシユアル・マイノリティについて学び、多様性を理解する必要がある。これからの学びを生かし、教職員の多様な働き方を認め合える職場づくりにもつなげていく。

本年度は、「性にとらわれず自分らしく生きる」をテーマに、講座Ⅰでは、なにわばし国際合同法務事務所の仲岡しゅんさんより、「セクシユアル・マイノリティと人権～実体験と差別の所在～」と題して討議がおこなわれた。